

中級日本語学習者の説明文理解における 情報の選択と統合の効果

田川 麻央

学位取得年月：平成20年3月
取得学位名：人文科学修士
学位授与機関名：お茶の水女子大学

【キーワード】 選択処理、統合処理、説明文、L2中級学習者

【要旨】

L2学習者の説明文理解において選択処理と統合処理をタスクによって促すことが理解表象にどのような影響を与えるか、重要アイデアの再生、全体再生、文章の位置別再生を指標に検証した。対象は成人の中級・中上級日本語学習者68人である。読み条件は選択群と選択統合群、統合群、統制群である。実験計画は被験者間計画である。課題は自由筆記再生、応用問題を行った。結果、重要アイデアの再生、全体再生で4群に差はなかったが、文章の終り(3節)で選択群が有意に多く再生した。以上よりL2中級学習者は文章全体から表象を形成することが困難で、選択タスクには間接的に文章全体の把握を助ける効果があることが示された。

(たがわ まお)

美術系大学院に学ぶ留学生に関する研究 —インタビューを通して明らかになったこと—

瀧脇 万寿子

学位取得年月：平成20年3月
取得学位名：人文科学修士
学位授与機関名：お茶の水女子大学

【キーワード】 美術留学生、研究生活、人的リソース、KJ法

【要旨】

本研究では美術留学生の留学動機から研究生活を通し留学というものをKJ法で解釈した。日本語に関する問題では自分の作品意図を日本語で説明する難しさを示していた。またコンセプトを説明して伝えることの必要性を感じていると同時に視覚作品を言語で説明する矛盾を抱えていた。日本留学に導かれている大きな要因として日本の美術作品の影響より人的影響が挙げられ、留学後は大学で教師、仲間との人的リソースをもとにグループ展、海外との交流展などネットワークを内外で作り活動の幅を広げキャリア作りを行っている。留学生生活は学びの場であると同時に実践の場であり、美術系留学生は人的影響力とのかかわりが強く重要であることが示唆された。

(たきわき ますこ)